

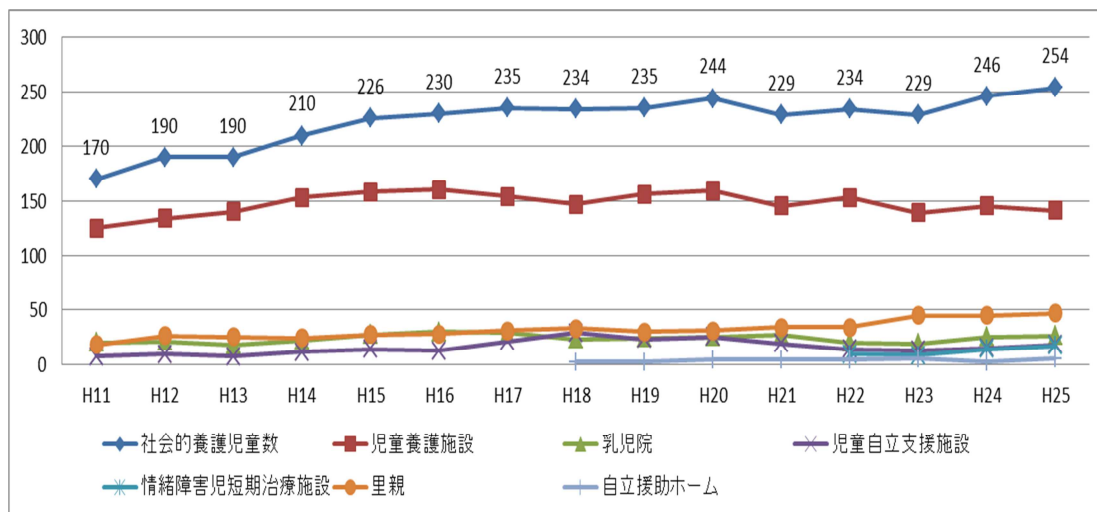
## 子ども・子育てをめぐる問題の動向

## 1 社会的に養護が必要な児童数の推移

○この15年間で社会的に養護が必要な児童は約50%（84人）増加している。

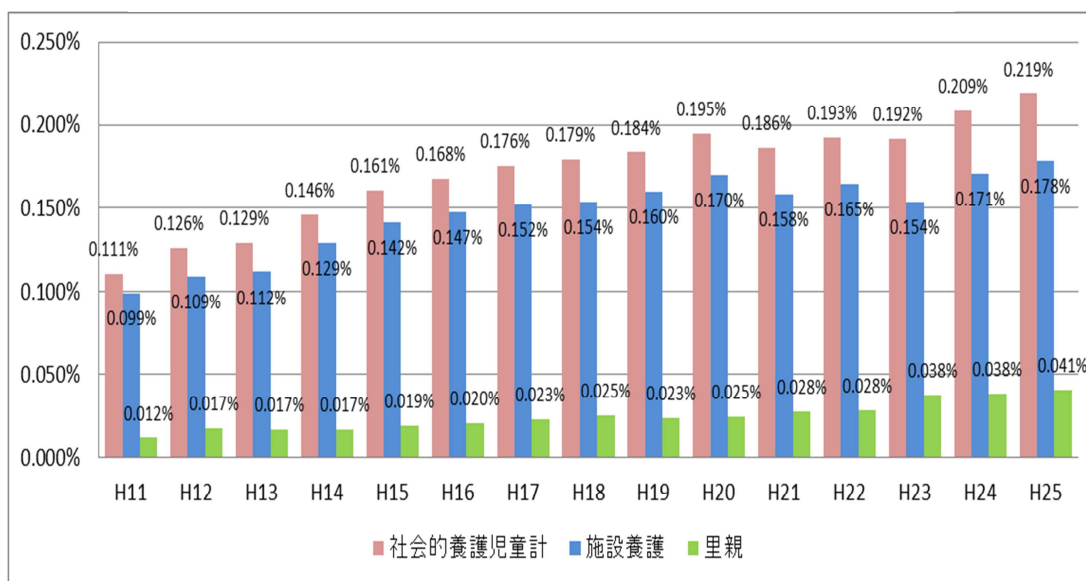
○児童人口に対して社会的に養護が必要な児童の割合は15年間で約2倍となり、児童人口に占める社会的に養護が必要な児童数は急激に増加している。

【社会的に養護が必要な児童数（島根県）（再掲）】



資料：島根県青少年家庭課調べ

【社会的に養護が必要な児童出現率（島根県）】

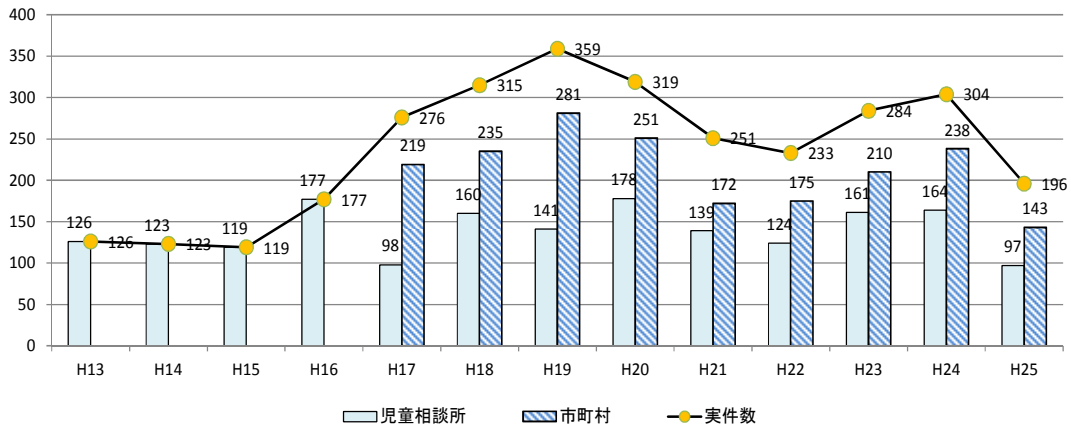


資料：島根県青少年家庭課調べ

## 2 児童虐待の状況

○島根県内の児童虐待相談（新規認定件数）は増減を繰り返しているものの、依然として高い数値で推移している。

【児童虐待相談（新規認定件数）の推移（島根県）】

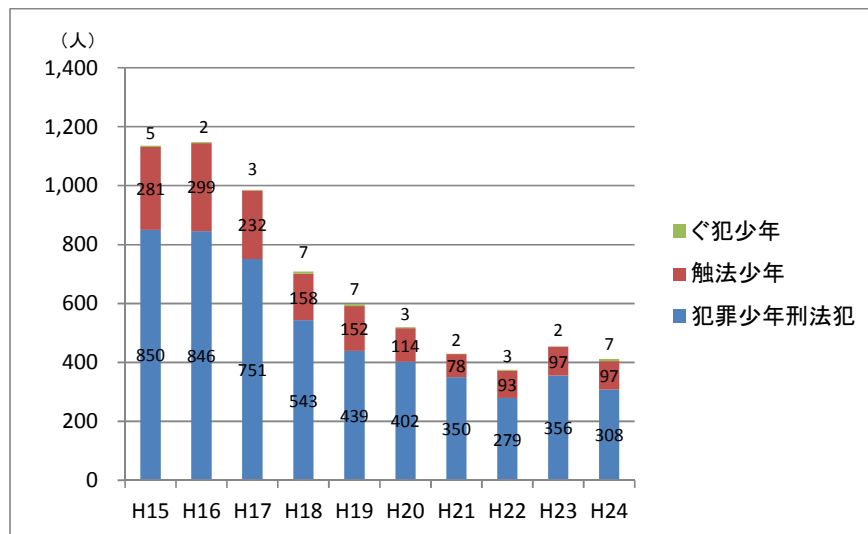


資料：島根県「平成 25 年度 児童相談の状況」

## 3 少年非行の状況

○県内の非行少年の補導人員は、近年減少傾向を示している。

【非行少年の補導人員の推移（島根県）】



- ・犯罪少年…罪を犯した14歳以上20歳未満の少年
- ・触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ・ぐ犯少年…保護者の正当な監督に服しない性癖があるなど一定の事由があって、その性格又は環境に照らして、将来罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年

資料：島根県警察「少年補導のあゆみ」（平成 24 年度版）